入選

未来の環境への願い

第五学年　武田知隼

ぼくは、五月に行った八ヶ岳移動教室で、たくさんのきれいな自然を見て、これからも自然の森林や動物たちが元気にくらしてほしいと考える。なぜなら、動物や自然がいなくなると、生態系がくずれて悲しいからだ。

今までいろいろな動物や植物、目に見えない小さな生き物が長い時間をかけて、森や里、川、海などの生態系をつくってきた。そこでは、生き物たちが食べたり、食べられたり、役に立ったり、じゃましたり、おたがい関わり合いながらくらしている。この関わり合いの中で、わたしたち人間も、食べ物や水、くらしやすい環境、生き物とのふれ合いなど、さまざまなめぐみに支えられ生活している。

今までピンチの時に努力してふっ活させてきたから、これからもピンチの時に救えばいいと思う人もいるかもしれない。

しかし、ピンチの時にハプニングがおこっ

20 × 20

て、自然や動物がいなくなってしまうかもしれない。自然や動物は先ほどもいったとおり人間の生活の中でかかせないそんざいだ。だからふだんから動物や自然が元気にくらせるように努力することが必要だ。

このようにぼくは、これからも自然の森林や動物たちが元気にくらしてほしいと願う。

そのためには、一人一人が森林にゴミをすてないなど、森林や動物に気をくばることが必要だと考える。ぼくも森林にゴミをすてないことを取り組みたいと思った。